

平成31年度 なんぷ〜香房事業計画書

【就労継続支援（B型）事業】

第1 基本方針

ご利用者一人ひとりのライフステージに合わせて、障がいの状況に関わらず住み慣れた地域で自立した社会生活が営むことが出来るように、ご利用者の意思及び人格を尊重し、ご利用者個人に合った支援計画を作成しサービスの提供をします。

また今年度は、目標工賃額の達成に向けて、既存の各種生産事業の見直しを進めることで、より効率的かつ効果的な事業運営を行います。さらにご利用者の個性や障害特性を理解したうえで生産活動に参加出来るよう、日々の心身の状態や健康面を観察し、安全で働きやすい職場環境等に配慮した支援体制に努めます。

つきましては、平成31年度の重点項目は以下のとおり進めます。

1 事業所（庁舎）の拡張調査の実施（新規）

平成19年度に開設当初の定員20名から現在では41名のご利用者が利用登録されています。このことで常勤職員数も当初の12名から平成30年度は20名の人員配置となっているなか、特にご利用者の静養・休憩所の設置と事務所の狭隘問題（労働環境）であり、ミーティングや面接室など皆無であることが大きな課題であります。ついては、支援環境の向上を図るために事業所の拡張に向けた本格的な検討、調査を開始します。

2 パン製造専門職の職員配置（新規）

「森のパン屋」の商品の生産活動・販売には、専門職員の人材確保が不可欠であります。ついては、菓子専門学校訪問及び各種職場ガイダンス並びに企業説明会・ハローワークなど幅広い求人活動を積極的に行います。

3 消費税増税に伴う対応調整（新規）

本年10月に消費税引き上げ（10%）が実施されることから、生産商品価格の改定と地域性を考慮した販売方法や販路など将来に渡って売り上げが継続されるよう適正な見直しを行います。また、軽減税率導入に伴い、複数税率対応型レジ（POSレジ）の早期導入と制度に対しての職員教育並びに適切な会計処理ができるように進めます。

4 目標工賃額達成に向けた取り組み

目標工賃額の達成に向けて、工賃向上計画の検証を行い、必要に応じて既存事業の見直しや各種イベントの参加、経費等の削減により工賃額の確保に努めます。また、職員の意識改革として工賃額向上をテーマとした、各種研修会の参加を推進します。

5 衛生・感染症対策

衛生管理に関わる研修会等の参加や衛生管理マニュアルの遵守をとおして、職員の意識向上と品質管理の徹底を図ります。また、インフルエンザ等の予防対策として、感染症マニュアルを基本とした対応を積極的に行い感染拡大の防止に努めます。

6 防災・防犯対策の強化

B C Pの継続的な評価と見直しを行うとともに、災害用備品の更新とご利用者を対象とした防災研修を企画実施し、防犯に関わる情報提供など行い、ご利用者意識の向上を図ります。

7 拠点機能の推進と地域公益活動

町や社会福祉協議会、自立支援協議会等と連携して多様化する福祉ニーズに対して、適切に対応します。また、地域貢献の一環としてパン教室の開催や各種イベントに積極的に協力します。

第2 組織と利用者状況

1 組織の概要

ご利用者の障がい特性を踏まえたサービスと実践を進めるとともに、安定的な事業経営を遂行するために、次の組織体制で進めます。

(1) 総務係

総務係は、事業所運営の庶務、会計、施設管理を行い、ご利用者への間接的な支援と経営管理を行います。

(2) 地域・就労支援係

地域支援係は、地域生活者に対して、生活場面における支援を中心に質の高いサービスを提供します。就労係は、就労（実習）等のフォローアップや企業との調整等を行います。

(3) 生産係

生産係は、授産事業を通してご利用者のスキルアップや就労に対する意識向上が図れる様に支援を行うとともに、生産品の向上を図ります。

(4) 職員配置状況（平成31年4月1日現在）

区 分	所 長	サビ管	地域支援係 (生活支援員)	生産就労係 (職業支援員)	パート (職業支援員)	総務 (事務員)	計
男 性	1	1	4	4			11
女 性			4	1	4	1	9
計	1	1	8	5	4	1	20

※（ ）は兼務職員

2 会議、委員会等の体制

(1) 会議

次の会議を設置し、利用者支援のサービス向上に努めます。

- ・ 職員会議 (全職員)
- ・ 生産就労会議 (生産就労係担当職員)
- ・ 支援会議 (支援係職員)
- ・ 食事サービス会議 (支援係担当者、主任以上)
- ・ 役職者会議 (主任以上)

(2) 委員会

事業運営と環境等の維持のため、次の委員会を設置します。

- ・ 生活委員会 (支援係担当者・ご利用者)
- ・ 衛生・QC委員会 (支援係担当者)
- ・ 防犯・防災対策委員会 //
- ・ 虐待防止委員会 //

(3) 研修事業

- ・ 施設内研修会 (随時)
- ・ 関係機関・団体・その他の研修参加 (随時)
- ・ 研究調査・ケース研究 (随時)
- ・ 施設外研修 (随時)

3 ご利用者の状況（平成31年4月1日現在）

（1）男女別状況

区 分	利用者数
男 性	22
女 性	19
計	41

（2）年齢別

区 分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最少 年齢	平 均
男 性	1	2	3	6	5	4	1	71歳	18歳	47.3歳
女 性	0	0	3	2	7	6	1	70歳	32歳	54.6歳
計	0	2	6	8	12	10	2			50.9歳

（3）障がい別

区 分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	身体 障がい	ダウン症	視 覚 障がい	聴 覚 障がい	内部疾患	体幹機能	強度行動 障がい	心因反応	その他
男 性	1		4				1		1			
女 性	3		3	1		1						
計	4		7	1		1	1		1			

（4）障害支援区分等（療育手帳）

区 分	障がい程度				障害支援区分							合計
	A	B	無し	計	非該当	1	2	3	4	5	6	
男性	6	16		22	2	0	1	13	5		1	22
女性	5	14		19	1	0	2	5	8	3		19
計	11	30		41	3	0	3	18	13	3	1	41

第3 事業と運営方針

1 事業の内容

- （1）製パン事業 レギュラーパン製造、災害備蓄用パン製造、クッキー製造、受託製造
- （2）珈琲焙煎事業 焙煎珈琲豆の製造販売、受託品販売
- （3）配食事業 宅配弁当事業、町社協配食事業受託
- （4）施設外実習 町内数ヵ所

2 利用者の活動時間 1日 6時間とする。

3 目標工賃額 1人当たり月額 昨年度以上 を目標とする。

4 運営方針

（1）総務係

項 目	事業内容	具体的な内容
事業運営	施 設 運 営	質の高いサービス提供が可能となるよう、訓練等給付費の適正な請求事務を行なうとともに、事業における予算管理や運用についても効率的な執行に努めます。
	金 銭 管 理 の 徹 底	金銭管理については、法人各施設と連携して適正に管理を行います。
	交 通 安 全 の 推 進	職員の交通事故・違反防止を目的として、セーフティラリー等の参加及び公用車全台にドライブレコーダーを設置し、職員の交通安全に対する意識向上を図ります。

事業運営	職員・ご利用者の健康管理	定期健康診断及び生活習慣病検診を年1回（ご利用者は年2回）実施するとともに、特定健康診断についても推進します。また、職場における心理的負担に配慮した職場環境作りを推進します。
	食事サービスの向上	栄養士と連携してご利用者の嗜好と季節感を反映した献立作りに努めます。また、給食委託業者と毎月食事サービス会議を実施し、衛生管理の向上やメニューの検証等をとおして食事サービスの向上を図ります。
	防災・防犯計画の見直し	大規模災害に備えて、BCP等の見直しを適宜行うとともに、必要な訓練や研修、備蓄品等の保管管理に努めます。また、防犯、防災対策として、ご利用者向けの安全教育や情報提供などを行います。

（２）地域支援係

地域支援	個別支援の充実	ご利用者のニーズに対して、面談やアセスメントを基に作成した個別支援計画に基づき適切に支援サービスを提供します。
	健康管理	ご利用者の体調の変化に速やかに対応出来るよう関係医療機関の協力を得て、早期発見と早期治療に努め、適切に対応が出来るように支援します。
	他事業所との連携	ご利用者が円滑に地域生活を営めるよう、法人内の各事業所や他法人との連携強化を図りながらサポート体制の構築を行います。
	ご家族との連携	ご利用者の高齢化や生活状態の変化を踏まえ、計画的に家庭訪問を計画し、ご家族と今後の生活体系等の情報交換などを通じて支援サービスの質の向上に努めます。
	家族会の事務局支援	家族会との相互関係を更に強化し、家族会及び各種なんぶ〜香房及びGHびあの事業が円滑に推進するように努めます。
	行事・レクリエーション	ご利用者の目標や活力となるような施設内外の行事を計画し、充実した生活が送れるように配慮します。
	権利擁護の推進	合理的配慮に基づいた適正な支援を推進するために、人権擁護に関する積極的な教育や訓練、内外の研修の機会の確保に努めます。

（３）生産就労係

就労支援サービス	施設外支援の充実	企業実習先等の関係機関との連携を強化し、受け入れ企業で継続的に定着が進むよう支援を行います。また、各種研修会の参加をとおして、担当職員のスキルアップを図ります。
	高齢ご利用者対策	高齢ご利用者の増加を踏まえて、精神及び身体の状態等を勘案した中で、本人が無理のない範囲で就労支援サービスを受けることが出来るよう適宜調整を行います。
	個別支援計画の作成と評価	複雑・多様化する就労ニーズに対して、効果的な就労支援サービスを提供するために、個別支援計画を基本としたサービスに努めるとともにサービスの提供状況について適宜検証を行います。
工賃向上	経費削減と業務改善	生産性を高めるとともに、原材料費等の適正な使用に努める事で収益の確保に努めます。また、職務分掌や係り分担などの業務内容の見直しを適宜行い効率的な業務遂行を行います。
	イベント等の参加と販路の拡充	工賃額の向上を目的として、地域などのイベント等に積極的に参加し、製パン販売及び商品の宣伝を推進するとともに、販路の拡充やインターネットを活用した販売を検討します。
	主力商品の開発	店舗の立地状況を踏まえ、魅力のある商品開発を進める事で来客数が増加するよう取組みを行います。
衛生管理	衛生感染症対策の推進	衛生健康管理に関わる研修会等の参加や各種マニュアルの遵守をとおして、職員の意識向上と品質管理の徹底、感染症予防対策に努めます。
授産事業	製パン事業	パン等の製造を通じて、就業に必要な知識及び技術向上を図ります。また、製パンに係る関連商品の開発やセット商品の見直しを行います。
	珈琲焙煎事業	コーヒマシンのメニューの見直しや個装による販売、その他の飲料販売を積極的に展開し収益の増加に努めます。
	配食事業	配食に使用する備品等について、適宜更新を進めるとともにアンケート調査やメニュー等の見直しをとおして顧客の満足度を高めます。
地域貢献	地域公益活動の推進	季節に応じたイベントセールや地域の各種催事等の出店販売を行います。また、地域住民等を対象としたパン教室も積極的に実施します。

障がい福祉サービス事業所 なんぷ～香房・共同生活援助事業所ぴあ

平成31年度 年間主要行事予定計画書

月日		施設行事	地域行事 施設協会	保健衛生	その他(自治活動等)
4月	1日	辞令交付式・新年度体制・虐待防止合同研修会			
	6日			緑陽台歯科検診	
	19日～21日	12周年記念セール			
	27日				家族会総会
	下旬	施設間交流会		前期健康診断	WS総会
5月	7日	春季外出 I			
	20日	春期外出 II			
	25日	なんぷ～香房パークゴルフ大会			
	随時		各町内会花見		
6月	9日				WS第1回クリーン作戦
	16日				WS第2回クリーン作戦
	22日	法人職員交流会			
	30日～1日	なんぷ～香房就労研修会			
	下旬	普通救急救命講習			
	未定		北・北海道知的協ソフトボール大会 北・北海道知的協パークゴルフ大会		
7月	6日	第38回『スポ・レク交流会』			
	28日	第47回かなやま湖湖水祭り(出店・見学)			
	11日～13日	サマーセール			
8月	22日	合同花火大会(からまつ園前庭)			
	31日	なんぷ～香房就労研修会			
9月	7日	第37回『大乗会ふれあいフェスタ』			
	2日	防災訓練(炊き出し・地震想定訓練)			
	8日		全道知的協パークゴルフ大会		
	13日			胃がん検診	
	17日		幾寅神社祭(獅子舞)		
	30日	秋季外出 I			
	上旬	GH合同スタッフ研修会			
	中旬	道の駅感謝祭、慰労会			
	未定				
10月	7日	秋季外出 II			
	15日	秋季外出 II			
	30日～31日	ハロウィンセール			
	上旬		道北スポーツ交流会		
	未定		道北知的協卓球大会	後期健康診断(ご利用者のみ)	
11月	10日～11日	なんぷ～香房1泊旅行		感染症対策月間(3月まで)	安全運転月間(3月まで)
	12日			婦人科検診(乳がん)	
	未定	普通救急救命講習		インフルエンザ予防接種	
12月	3～9日	障がい者週間『普及啓発事業(セール)』			
	8日	障がい者週間パン教室			
	17日				WS主催クリスマス会
	31日	年越し忘年会(GH)			WS年越し忘年会
1月	1日	新年交流会			WS新年交流会
	未定		各町内会新年会		
2月	13日～14日	バレンタインデーセール			
	未定	法人研究発表会			
3月	1日～3日	ひなまつりセール			
	中旬	シルバーいきいき研修会			シルバー旅行
	〃	防災訓練(雪害想定訓練)			
その他	年間	避難訓練(火災年2回以上、防災1回以上)			
	毎月				ご利用者の希望行事
	随時	パン教室、余暇活動、ホーム外出	その他町内会行事		

※ 一時帰宅は、ご利用者の状況等により、個別に日程を設定します。

※ 開催日程は、変更が生じる場合があります。

平成31年度 障害福祉サービス事業所なんぷ〜香房（就労継続支援B型事業所）組織機構図(案)

平成31年4月1日

職 員 21名

(生産 11名)

(地域 8名)

正 11名

準 1名

臨時 5名

短時 4名

